

ウィンターシーズン到来 田沢湖エリア合同スキー場開き



12月9日、田沢湖スキーエリアのスキー場開きがたざわ湖スキー場で開催されました。

このスキー場開きは、田沢湖高原アッスルススキー場・たざわ湖スキー場・スノーワールドタザワの3スキー場で組織する、田沢湖スキーエリア連絡協議会の主催で行われました。

当日は、スキー場開きに先立ち、各スキー場の代表者が記者会見し、それぞれのスキー場のPRをしたほか、同協議会が雪上車で行く「パノラマツアー」を今シーズンも企画していることが発表されました。

神事に続いて式典が行われ、若杉清一会長（田沢湖高原リフト株式会社社長）から「事故の無いシーズンにするよう努める」とあいさつがありました。また、関係者9人でテープカットをしてウィンターシーズンのオープンを祝いました。

庖和会が清眺苑を慰問

11月28日、田沢湖地区の調理師でつくる庖和会が、たざわこ清眺苑を訪れ、山の芋鍋を調理し入所者にごちそうしました。

同会は昭和55年に発足し、会員数は現在15人。清眺苑への慰問は昭和56年から始め毎年実施しています。

当日は、6人の会員が持参した山の芋などの材料を調理し、昼食に振る舞いました。

齊藤忠一会長は「この行事は、お年寄りのみなさんが待っている感じがしてやめられない。会員からも、そろそろでないかと声が出てくる。これからも続けていきたい」と語ってくれました。

お年寄りのみなさんは、山の芋鍋をおかわりするなど、とてもおいしそうに食べていました。



山の芋鍋を振る舞う齊藤忠一会長

今年の出来を競うコンテスト 刺巻地区収穫祭

11月13日、刺巻地区で出来秋を祝う収穫祭が、刺巻会館で行われました。

収穫祭では、平成17年に収穫された米のおいしさの順位を決める第11回美味しい米コンテストのほか、美味しい漬物コンテスト、酒の肴コンテストが行われました。

美味しい米コンテストでは、田沢湖調理師庖和会齊藤忠一会長や観光業に携わっている人などが審査員を務め、食味値、玄米検査、官能検査の総合で審査した結果、佐藤善昭さんが第11代米作り名人に選ばれました。

また、美味しい漬物コンテストでは佐藤つや子さんの「なた漬け」が、酒の肴コンテストでは佐藤千代子さんの「ピーマン味噌」が選ばれました。



公正な審査をする審査員のみなさん

当日は、ユニークなコンテストが行われるなど、楽しい収穫祭となりました。

当日は、ユニークなコンテストが行われるなど、楽しい収穫祭となりました。

戸沢氏城主の墓石を寄附

去る11月1日、角館町菌田にお住まいの田口至幸さんから、戸沢氏城主の墓石（古代五輪塔 一尺五寸玉）一基が市に寄附されました。この塔は、仙北市の歴史を知る上で大変重要である県指定史跡門屋城址（西木町小山田字沢口地内）のところに田口さんが私財を投じて建てられたものです。

戸沢氏は、今回合併した田沢湖、西木、角館それぞれの地域にとって大変縁が深く、この合併を機に戸沢氏の研究が進み、地域の一体感に繋がってることが期待されます。

田口さんのご芳志に感謝いたします。

